

マンション開発の進捗 一元的管理を実現

レックアイがシステム開発

土地情報の管理画面。プロジェクト全体を一元管理する

項目	内容	項目	内容
001	001	001	001
002	002	002	002
003	003	003	003
004	004	004	004
005	005	005	005
006	006	006	006
007	007	007	007
008	008	008	008
009	009	009	009
010	010	010	010

ITコンサルタント（東京都豊島区、鈴木徳之社長）はこのほど、マンション開発における一括情報管理システム「RePRO（レプロ）」を開発した。用地情報から事業工程、事業の進捗（ちよく）に合わせた収支履歴、支払い手続きなど一連の情報を管理する同システムの開発で、業務の効率化と正確性の提供を図る。

同社によると、各マンション会社によって事業のルール化や業務手順が異なるため、どの会社にも対応できる同様のシステム構築は難しかった。エクセルなどで事業管理を行っている会社が大半

だという。今回は、開発したシステムを基礎として同社が各社ごとにオーダーメイドに対応。開発期間は標準で8〜9カ月、費用は約3000万円を想定している。既に4社から受注しており、そのほか10数社と協議中。「『このようなシステムが欲しかった』という声が多い。初年度に30社程度の受注が確保できるのでは」と見込んでいる。

同システムの入り口である用地情報の管理では、所在地・地番による検索で入手情報が既知のものかどうかを即座に判断でき、登録後は交渉履歴など情報の更新を随時可能にした。「1000件入手した情報のうち、事業化できるのは一般的に3つ」（鈴木社長）であるため、大量の情報整理がプロジェクトの初期段階で可能となる。また、複数の建築プランニングも土地ごとに設定でき、建物概要、事業工程・収支をそれぞれ管理できる。

進行中のプロジェクトについては、土地、建物、工程、収支など様々な項目の詳細情報を集約でき、「仕入時」「着工時」「上棟

時」など節目ごとの事業収支の履歴も作成可能とした。また、原簿関連の契約・支払い情報の登録も可能で、プロジェクトの入り口から出口まで一元的に管理できる内容とした。

鈴木社長は、「それぞれをバラバラに管理すると、数字が合わないなどの問題が出てくる。金額の大きい

マンション開発であれば問題は更に深刻化する。同システムの活用で、業務の効率性・正確性の向上が図れるだけでなく、内部統制的にも効果を発揮する」と話している。

同社は03年11月、大手マンションデベロッパーでネット戦略を手掛けていた鈴木社長が設立した会社。

2007. 4. 17 号
「住宅新報」にレックアイのRePROが掲載されました。